

令和4年度
第1回 恵庭市公営企業経営審議会

- ・ 令和3年度 公営企業会計決算について

令和4年9月13日
恵庭市水道部経営管理課

目次

1. 公営企業会計について 1ページ
2. 令和3年度水道事業決算状況 7ページ
3. 令和3年度下水道事業決算状況 17ページ

1. 公営企業会計について

1 公営企業会計について

【地方公営企業とは】

- ・ 地方公共団体が、**住民の福祉の増進**を目的として設置し、経営する企業。
- ・ 企業としての**経済性**を発揮する必要があるため、一般の官公庁会計と異なった企業会計という経理方式（複式簿記）を採用し、経営状況を正確に把握することが可能となっている。
- ・ 恵庭市では水道事業と下水道事業の**2事業**が該当。
- ・ 主に「水道料金」と「下水道使用料」の料金収入で経費をまかなっている。

1 公営企業会計について

【公営企業会計と官公庁会計の違い】

①現金主義ではなく、**発生主義**である

現金の収支にかかわらず経済活動の発生事実に基づき整理される。（複式簿記採用）

②**期間計算**（費用配分）の考え方がある

その年度の収益の獲得につながったと考えられる部分だけがその年度の費用として整理される。

③**損益計算**と**資本取引**の区分がある

1年間の経営成績を表す収益的収支、施設の建設・改良等の事業費とその財源を表す資本的収支の2つの収支がある。

④**資産、負債及び資本**の概念がある

「資産」は資金の運用形態を示し、「負債及び資本」は資金の調達方法等を示す。※資産 = 負債 + 資本

⑤**予算**及び**決算**の双方を重視する

歳出の規制だけでなく、経済性の発揮が求められている。

1 公営企業会計について

【収益的収支と資本的収支】

■収益的収支（3条）

1年間の企業活動に伴い発生する収益と費用を表したもの

- 施設の維持管理、事業を運営するための費用とその財源
- 当年度の収益と費用を表す

■資本的収支（4条）

施設の建設など支出の効果が翌年度以降に及ぶものや、企業債の元金償還などの支出とその財源となる収入を表したもの

- 施設を建設・整備するための支出と企業債の借入などの財源
- 翌年度の収益的収支に影響

○公営企業においては、資本的収支の収入が支出に対し不足するため、収益的収支からの利益や損益勘定留保資金※1（減価償却費※2等）で補てん（穴埋め）することが一般的

※1 損益勘定留保資金：現金支出を伴わない費用によって企業内に残る資金

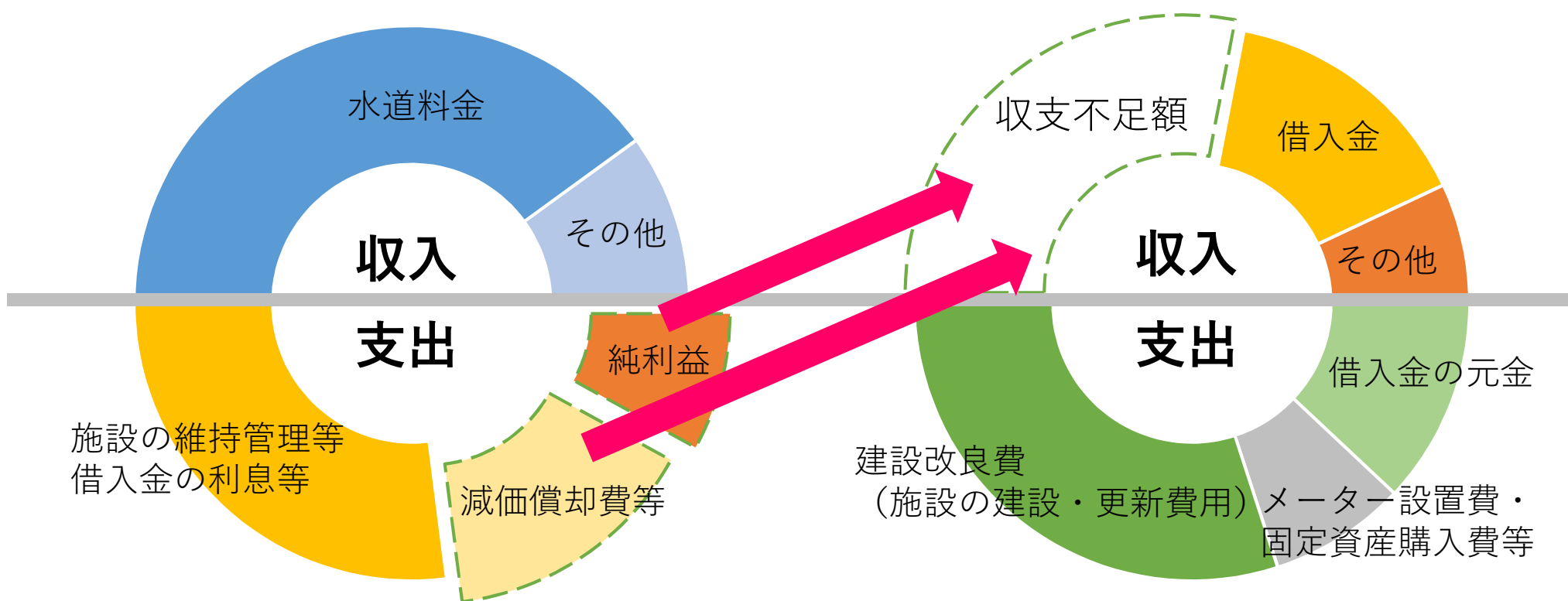
※2 減価償却費：固定資産の経年的な価値の減少を毎事業年度の費用として計上するもの

1 公営企業会計について

【収益的収支と資本的収支の関係】

収益的収支（3条予算）

資本的収支（4条予算）



2. 令和3年度水道事業決算状況

2 令和3年度水道事業決算状況（予算対比）

【収入支出の概要】

■収益的収支（3条）

参照：12～13ページ

（単位：千円）

	令和3年度予算(a) ※補正後	令和3年度決算 (b)	増減 (b-a)	増減率	令和2年度決算(c)	増減(b-c)
収益的収入 税込	1,682,138	1,687,636	5,498	0.3%	1,709,891	△22,255
(A) (税抜)	(1,539,575)	(1,546,611)	(7,036)	(0.5%)	(1,566,380)	(△19,769)
収益的支出 税込	1,506,319	1,508,427	2,108	0.1%	1,485,337	23,090
(B) (税抜)	(1,419,123)	(1,421,241)	(2,118)	(0.1%)	(1,397,806)	(23,435)
純利益(A-B) (税抜)	(120,452)	(125,370)	(4,918)	(4.1%)	(168,574)	(△43,204)

主な増減理由（予算対比）

消費税込み

- ・収入 給水収益の減少(家事用外給水収益の減)(△13,351千円)、その他営業収益の増加(基線補償金の増)(17,439千円)、雑収益の増加(廃棄分解メーター売却代の増)(4,737千円)
- ・支出 減価償却費の増(9,572千円)、配水および給水費の減少(修繕・委託等の減)(△4,788千円)

■資本的収支（4条）

参照：14ページ

（単位：千円、消費税込み）

	令和3年度予算(a)	令和3年度決算(b)	増減 (b-a)	増減率	令和2年度決算(c)	増減(b-c)
資本的収入(A)	192,800	201,880	9,080	4.7%	160,900	40,980
資本的支出(B)	830,722	790,567	△40,155	△4.8%	794,641	△4,074
収支不足(A-B)	△637,922	△588,687	49,235	△7.7%	△633,741	45,054

主な増減理由（予算対比）

（消費税込み）

- ・収入 道補助金の増加(上下水道管路台帳システム構築事業)(9,080千円)
- ・支出 工事請負費の減少(工事の入札による執行残の発生)(△15,242千円)、メーター設置費の減少(△10,101千円)、固定資産購入費の減少(上下水道管路台帳システム構築事業費の減)(△12,755千円)

2 令和3年度水道事業決算状況（主な概況）

令和3年度決算「建設改良費等」の特徴

1 令和3年度 建設改良費（前年対比と主な増減） 485,885千円（前年比 △32,311千円）（消費税込み）

（千円）						
①配水管布設工事 φ50～φ150 L=979.9m	44,009（前年比 7,567）	(R2繰越)	0件（0路線）	新設分		
		(R3現年)	7件（9路線）	新設分	φ50-φ150	979.9m
②配水管布設替工事 φ50～φ250 L=6,579.2m	366,330（前年比△39,979）	(R2繰越)	0件（0路線）			
		(R3現年)	14件（32路線） [内、ゼロ市債：4件]		φ50-φ250	6,579.2m
③その他工事	16,060（前年比△1,771）	応急給水資材車庫整備工事				1棟
④メーター取替工事	59,486（前年比 1,872）	φ13 3,784件、φ20 259件 他 合計 4,126件				
						16,060
						59,486

※直接的に水道施設の資産経費に資する経費として、建設改良費のうち工事請負費を計上。

※建設改良費のうちメーター工事請負費を計上。

2 令和3年度 水道事業受贈財産 21,270千円（消費税抜き）

（千円）						
西島松宅地造成工事	移管元	株式会社玉川商事	配水管	PEP φ 50	64.3m	21,270
			配水管	DNEP φ 75	836.1m	
			配水管	DNEP φ 100	5.2m	

3 令和3年度 給水工事設計審査申請・検定収益状況 21,914千円（消費税込み）

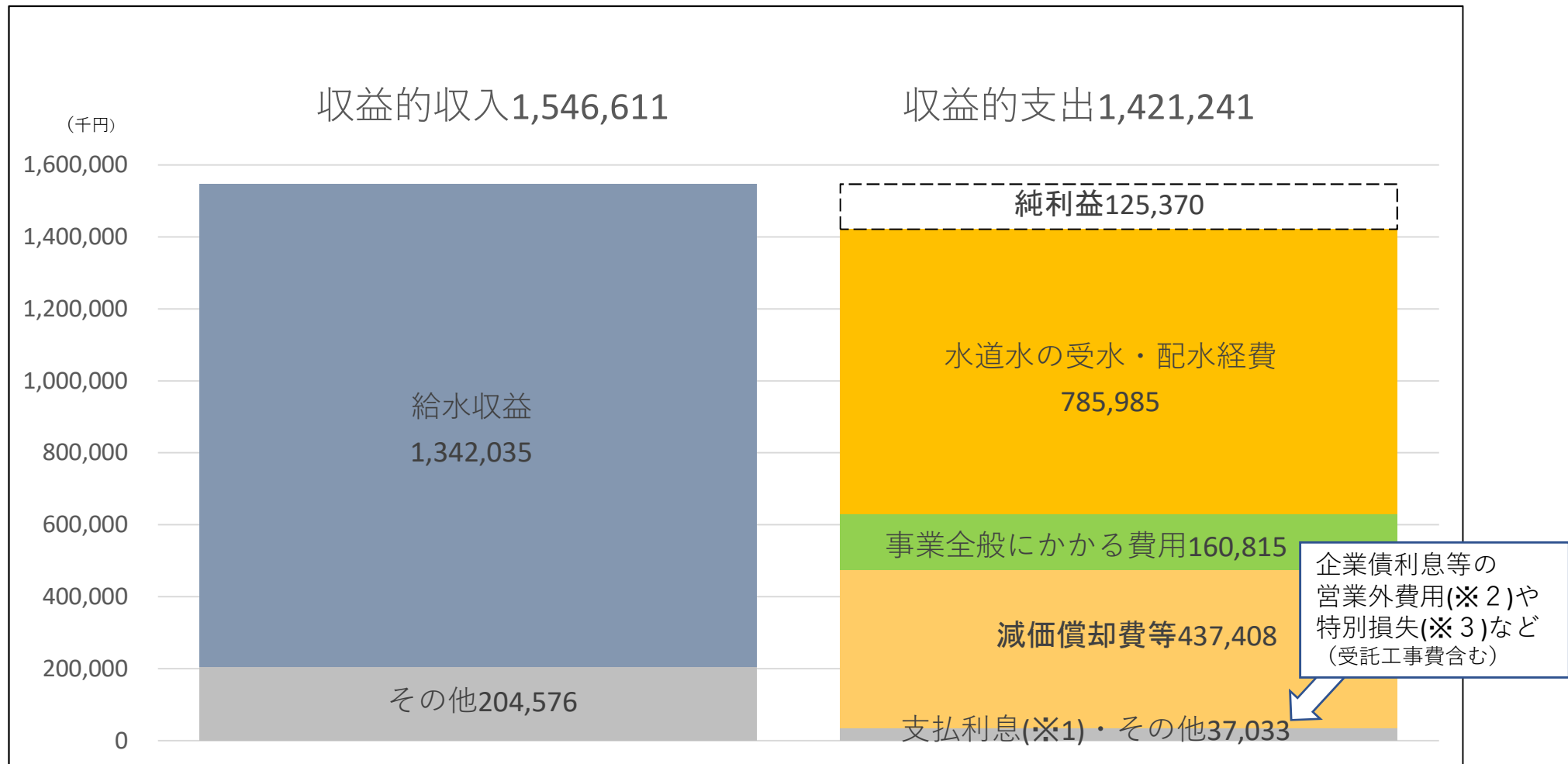
（単位：円）

区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
新 設	332	18,179,500	337	16,710,400	349	18,731,900
改 造	38	1,008,500	23	519,500	32	868,600
その他	167	2,725,900	140	1,223,300	142	1,564,100
計	537	21,913,900	500	18,453,200	523	21,164,600

2 令和3年度水道事業決算状況（決算の姿）

■収益的収支（3条）消費税抜き

参照：15～16ページ



※1 支払利息：借入金（企業債）に対する利息

※2 営業外費用：水道事業の主たる営業活動以外のから生じる費用

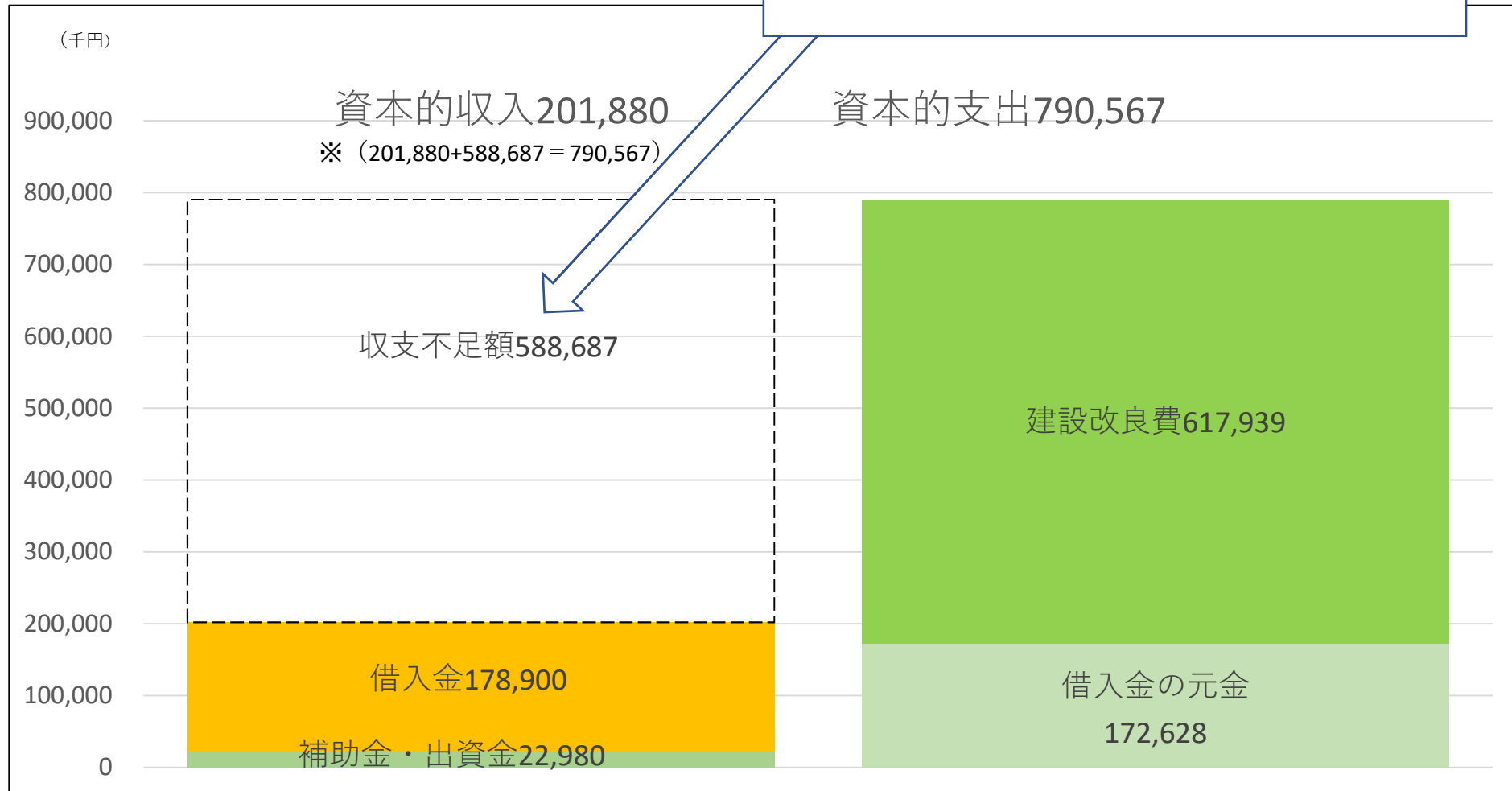
※3 特別損失：当期の費用に計上することが不適當な費用（臨時的な費用や過年度分の水道料金還付金など）

2 令和3年度水道事業決算状況（決算の姿）

参照：14ページ

■資本的収支（4条）消費税込み

損益勘定留保資金（減価償却費等）等で補てん



出資金：一般会計又は他会計から特別に出資されたもの

① 予算決算比較表（消費税込み）

1 収益的収支

（収益的収入）

（単位：円・％） （消費税込み）

科目	令和3年度				令和2年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業収益	1,615,358,000	1,619,028,576	100.2	3,670,576	1,641,152,291	△ 22,123,715
（1）給水収益	1,489,528,000	1,476,176,600	99.1	△ 13,351,400	1,499,284,954	△ 23,108,354
（2）受託事業収益	56,308,000	55,891,241	99.3	△ 416,759	56,719,542	△ 828,301
（3）その他営業収益	69,522,000	86,960,735	125.1	17,438,735	85,147,795	1,812,940
2. 営業外収益	66,780,000	68,554,042	102.7	1,774,042	68,730,639	△ 176,597
（1）受取利息及び配当金	10,000	129,036	1290.4	119,036	216,097	△ 87,061
（2）他会計負担金	2,744,000	2,816,000	102.6	72,000	2,560,000	256,000
（3）長期前受金戻入	62,079,000	58,924,749	94.9	△ 3,154,251	64,908,480	△ 5,983,731
（4）雑収益	1,947,000	6,684,257	343.3	4,737,257	1,046,062	5,638,195
3. 特別利益	0	53,014	—	53,014	7,579	45,435
（1）過年度損益修正益	0	53,014	—	53,014	7,579	45,435
合計	1,682,138,000	1,687,635,632	100.3	5,497,632	1,709,890,509	△ 22,254,877

■ 主な増減の要因（予算対比）	
1. 営業収益	（予算比3,671千円）
（1）給水収益	家事用外給水収益の減（△13,749千円）
（2）受託事業収益	消火栓更新整備工事に係る受託事業収益の減（△410千円）
（3）その他営業収益	基線補償金の増（13,070千円）
2. 営業外収益	（予算比1,774千円）
（1）受取利息及び配当金	定期預金利率の上昇による増（119千円）
（2）他会計負担金	人事異動による児童手当支給額増に伴う一般会計繰入金（負担金）の増（72千円）
（4）雑収益	廃棄分解メーター売却代の増（4,813千円）

(収益的支出)

(単位：円・%)

(消費税込み)

科目	令和3年度				令和2年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業費用	1,472,756,853	1,476,865,267	100.3	4,108,414	1,451,521,501	25,343,766
(1) 受水費	744,905,137	744,905,137	100.0	0	745,762,892	△ 857,755
(2) 配水及び給水費	117,952,716	113,164,689	95.9	△ 4,788,027	105,184,306	7,980,383
(3) 受託工事費	12,314,000	11,924,000	96.8	△ 390,000	12,177,000	△ 253,000
(4) 総係費	170,559,000	169,463,476	99.4	△ 1,095,524	168,327,501	1,135,975
(5) 減価償却費	392,746,000	402,318,335	102.4	9,572,335	383,726,970	18,591,365
(6) 資産減耗費	34,280,000	35,089,630	102.4	809,630	36,342,832	△ 1,253,202
2. 営業外費用	30,289,640	30,289,640	100.0	0	33,217,322	△ 2,927,682
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	23,990,040	23,990,040	100.0	0	28,530,116	△ 4,540,076
(2) 消費税及び 地方消費税	6,299,600	6,299,600	100.0	0	4,201,800	2,097,800
(3) 雑支出	0	0	0.0	0	485,406	△ 485,406
3. 特別損失	1,272,507	1,272,507	100.0	0	598,305	674,202
(1) 過年度損益 修正損	1,272,507	1,272,507	100.0	0	598,305	674,202
4. 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
(1) 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
合 計	1,506,319,000	1,508,427,414	100.1	2,108,414	1,485,337,128	23,090,286

■ 主な増減の要因 (予算対比)

1. 営業費用	(予算比4,108千円)
(2) 配水及び給水費	人件費の減(△744千円)
	漏水等修繕工事の減(△1,235千円)
	委託料の減 (水道施設整備等維持管理委託料の減△770千円、 水道事業用地除草委託料の減△448千円)
(4) 総係費	食糧費の減(△36千円)
	交際費の減(△25千円)
	手数料の減 (止水栓開閉業務手数料の減△14千円、 産業廃棄物処分手数料の減△50千円)
(5) 減価償却費	R2年度登録の固定資産増による(9,572千円)

2 資本的収支

(資本的収入)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和3年度				令和2年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 企業債	178,900,000	178,900,000	100.0	0	147,000,000	31,900,000
(1) 企業債	178,900,000	178,900,000	100.0	0	147,000,000	31,900,000
2. 補助金	0	9,080,000	0.0	9,080,000	0	9,080,000
(1) 道補助金	0	9,080,000	0.0	9,080,000	0	9,080,000
3. 出資金	13,900,000	13,900,000	100.0	0	13,900,000	0
(1) 出資金	13,900,000	13,900,000	100.0	0	13,900,000	0
合 計	192,800,000	201,880,000	104.7	9,080,000	160,900,000	40,980,000

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
2. 補助金	(予算比9,080千円)
(1) 道補助金	上下水道管路台帳システム構築事業に係る補助金 (生活基盤施設耐震化等補助金)の増(9,080千円)

(資本的支出)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和3年度				令和2年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 建設改良費	656,093,000	617,938,267	94.2	△ 38,154,733	637,085,079	△ 19,146,812
(1) 水道施設整備費	486,873,400	468,623,603	96.3	△ 18,249,797	527,284,357	△ 58,660,754
(2) メーター設置費	118,282,000	108,181,264	91.5	△ 10,100,736	108,293,942	△ 112,678
(3) 固定資産購入費	50,937,600	41,133,400	80.8	△ 9,804,200	1,506,780	39,626,620
2. 企業債償還金	172,629,000	172,628,444	100.0	△ 556	157,556,159	15,072,285
(1) 企業債償還金	172,629,000	172,628,444	100.0	△ 556	157,556,159	15,072,285
3. 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
(1) 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
合 計	830,722,000	790,566,711	95.2	△ 40,155,289	794,641,238	△ 4,074,527

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
1. 建設改良費	(予算比△38,155千円)
(1) 水道施設整備費	工事の入札による執行残の発生(△15,242千円)
(2) メーター設置費	メーター購入等の減(△10,101千円)
(3) 固定資産購入費	上下水道管路台帳システム構築事業費の減 (△12,755千円)

② 損益計算書前年度比較表（消費税抜き）

（収 入）

（単位：円）

収益の部				
科 目	令和3年度	令和2年度	前年度比較増減	要 因
総収益（A）	1,546,610,700	1,566,379,844	△ 19,769,144	
1. 営業収益	1,478,491,116	1,497,553,898	△ 19,062,782	
（1）給水収益	1,342,035,455	1,363,046,677	△ 21,011,222	家事用、家事用外給水収益の減（有収水量の減）
（2）受託事業収益	50,810,227	51,563,220	△ 752,993	
（3）その他営業収益	85,645,434	82,944,001	2,701,433	設計審査手数料の増
2. 営業外収益	68,070,833	68,819,012	△ 748,179	
（1）受取利息及び配当金	129,036	216,097	△ 87,061	
（2）他会計負担金	2,816,000	2,560,000	256,000	人事異動による児童手当支給額増に伴う一般会計繰入金（負担金）の増
（3）長期前受金戻入	58,924,749	64,908,480	△ 5,983,731	
（4）雑収益	6,201,048	1,134,435	5,066,613	廃棄分解メーター売却代の増
3. 特別利益	48,751	6,934	41,817	
（1）過年度損益修正益	48,751	6,934	41,817	

(支 出)

(単位：円)

費用の部				
科 目	令和3年度	令和2年度	前年度比較増減	要 因
総費用 (B)	1,421,240,698	1,397,805,892	23,434,806	
1. 営業費用	1,395,048,213	1,368,197,727	26,850,486	
(1) 受水費	677,186,499	677,966,274	△ 779,775	
(2) 配水及び給水費	108,798,702	101,015,173	7,783,529	修繕費（漁川横断管不断水バルブ設置工事等）の増
(3) 受託工事費	10,840,000	11,070,000	△ 230,000	消火栓更新整備工事に伴う実勢価格調査委託料の減
(4) 総係費	160,815,047	158,076,478	2,738,569	人事異動による人件費の増
(5) 減価償却費	402,318,335	383,726,970	18,591,365	R2年度登録の固定資産増による
(6) 資産減耗費	35,089,630	36,342,832	△ 1,253,202	除却資産の減
2. 営業外費用	24,919,978	29,009,860	△ 4,089,882	
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	23,990,040	28,530,116	△ 4,540,076	償還による発行企業債の元金減少による
(2) 雑支出	929,938	479,744	450,194	
3. 特別損失	1,272,507	598,305	674,202	
(1) 過年度損益修正損	1,272,507	598,305	674,202	漏水減免による還付増
当年度純利益 (A) - (B)	125,370,002	168,573,952	△ 43,203,950	
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	
その他未処分利益剰余金変動額	168,573,952	135,907,123	32,666,829	
当年度未処分利益剰余金	293,943,954	304,481,075	△ 10,537,121	

3. 令和 3 年度下水道事業決算状況

3 令和3年度下水道事業決算状況（予算対比）

【収入支出の概要】

■収益的収支（3条）

参照：22～23ページ

（単位：千円）

	令和3年度予算(a)	令和3年度決算(b)	増減(b-a)	増減率	令和2年度決算(c)	増減(b-c)
収益的収入 税込	2,772,365	2,800,326	27,961	1.0%	2,754,887	45,439
A（税抜）	(2,640,059)	(2,685,717)	(45,658)	(1.7%)	(2,638,699)	(47,018)
収益的支出 税込	2,562,517	2,529,421	△33,096	△1.3%	2,500,353	29,068
B（税抜）	(2,494,685)	(2,467,802)	(△26,883)	(△1.1%)	(2,460,448)	(7,354)
純利益(A-B)	(145,374)	(217,915)	(72,541)	(49.9%)	(178,251)	(39,664)

主な増減理由（予算対比）（消費税込み）

- ・収入 下水道使用料の増加(22,043千円) 雨水処理負担金の減少(△23,089千円)
 その他営業収益の減少(△14,232千円) 特別利益の増加(43,026千円)
- ・支出 運営管理費の減少(管渠費の減 △21,949千円、処理場費の減 △22,506千円、個別排水処理費の減
 △5,762千円、水質規制費の減 △2,068千円、総係費の減 △2,099千円)、減価償却費の増加(25,251千円)

■資本的収支（4条）

参照：24ページ

（単位：千円、消費税込み）

	令和3年度予算(a)	令和3年度決算(b)	増減(b-a)	増減率	令和2年度決算(c)	増減(b-c)
資本的収入(A)	1,183,472	864,472	△319,000	△27.0%	1,535,984	△671,512
資本的支出(B)	2,094,223	1,745,176	△349,047	△16.7%	2,461,875	△716,699
収支不足(A-B)	△910,751	△880,704	30,047	△3.3%	△925,891	45,187

主な増減理由（予算対比）（消費税込み）

- ・収入 企業債借入の減少（公共下水道整備事業費等の繰越による △174,600千円）
 補助金の減少（補助対象事業の減による △142,552千円）
- ・支出 公共下水道整備費の執行残（国庫補助金の当初配分に伴う事業の先送り、国庫補補助事業の追加採択、
 コロナ禍における物流情勢や天候等による工事繰越や入札差金の発生による）（△332,688千円 内、
 繰越等分 279,971千円）

3 令和3年度下水道事業決算状況（主な概況）

令和3年度決算「繰入金・建設改良費」の特徴

1 令和3年度 一般会計繰入金（前年対比と主な増減） 748,257千円（前年比△28,719千円）（消費税込み）

①公共下水道（715,207／前年比△27,947）						（千円）
営業収益	雨水処理負担金	514,582	（前年比△35,325）	雨水に係る資本費（減価償却費等）及び維持管理費（人件費、修繕費等）の減		
営業外収益	他会計補助金（基準外）	66,304	（前年比△8,985）	資本費交付税措置相当補助の減（分流式下水道等に要する経費の増に伴う“負の相関”による減）		
	他会計負担金	26,356	（前年比+14,316）	汚水分資本費の増による分流式下水道等に要する経費の増		
資本的収入	他会計出資金	107,965	（前年比+2,047）	特別措置分元金償還金の増		
②個別排水処理施設（33,050／前年比△772）						（千円）
営業外収益	他会計負担金	28,799	（前年比△1,406）	維持管理費（修繕費等）の減		
資本的収入	他会計出資金	4,251	（前年比+634）	個別排水処理施設整備事業償元金償還金及び建設改良に係る出資金の増		

2 令和3年度 下水道整備費 703,701千円（前年比△673,279千円）（消費税込み）

①管渠等整備工事						（千円）	
	611,188 （前年比92,840）	分流化	（福住町・末広町）	汚水管	φ200	2,370m	366,441
		老朽化対策	（恵庭1号幹線）	汚水管	φ1200	130m	45,793
(R2実績)		浸水対策	（和光町・戸磯）	雨水管	φ250～1500	859m	128,073
分流化（汚水2,333m）、老朽化対策（汚水368m）		浸水対策（負担金）	（西島松（現 島松寿町））	雨水管	φ500	114m	18,920
浸水対策（雨水245m）、汚水整備（汚水114m）		汚水整備	（和光町・戸磯）	汚水管	φ200	357m	30,701
		柵新設等		汚水柵等		柵新設11基ほか	21,260
②終末処理場整備工事						（千円）	
	79,525 （前年比：△772,595）	老朽化対策	汚泥濃縮機外更新（JS協定）		1/2年目		26,000
		老朽化対策	2系沈砂池棟無停電電源装置、2系反応タンクDO計更新				8,525
		耐震化	流入渠、放流渠外 耐震補強（JS協定）				45,000
③個別排水処理施設整備費						（千円）	
	12,988 （前年比：6,476）	生活排水処	合併処理浄化槽の整備		5人槽5基、7人槽2基、10人槽0基		12,988
(R2実績)		理率の向上					
5人槽 1基、7人槽 1基、10人槽 1基							

※直接的に下水道施設の資産形成に資する経費として、建設改良費のうち工事請負費、日本下水道事業団(JS)への建設工事委託協定(委託料)、開発行為に関連する管渠整備協定(負担金)を計上。

3 令和3年度 下水道受贈財産 56,111千円（消費税抜き）

						（円）
西島松地区宅地開発	移管元	株式会社玉川商事	汚水管 φ200 L=618m、雨水管 φ250～650 L=1,067m			52,800,000
下水道管布設用地（私道）	移管元	土地所有者（個人1件）	福住町2丁目11-4、福住町3丁目11-5、14-5 A=181㎡			1
下水道法第16条に基づく個人設置公共汚水柵	移管元	株式会社ジョーンソンホームズ 外	N=6基			3,310,936

※資産登録上、下水道管布設用地の取得価格は、備忘価格としている。

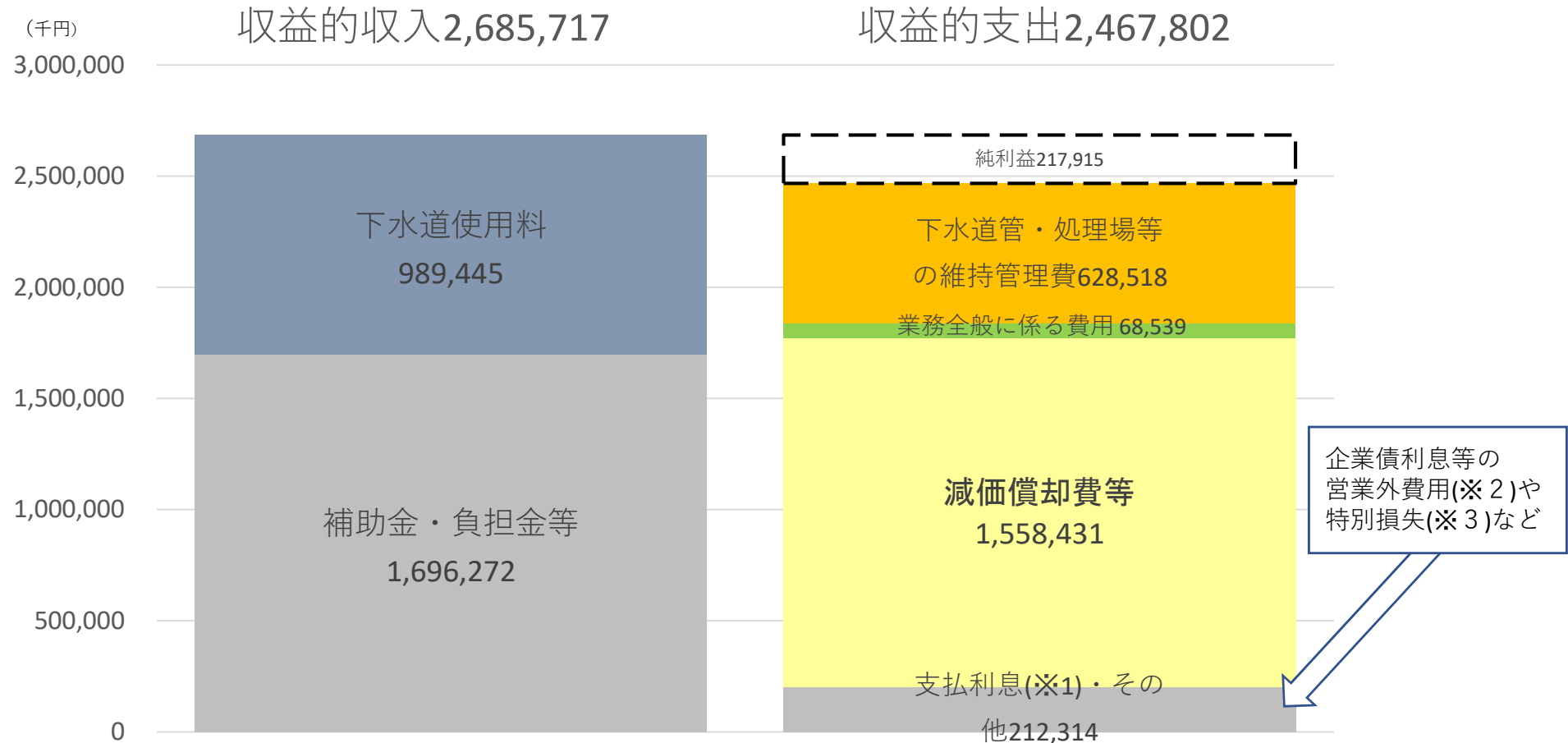
4 令和3年度 下水道整備費繰越工事 279,971千円（消費税込み）

						（千円）
繰越工事	管渠整備事業（分流化）	108,000	補助金	30,000	企業債	66,685
	管渠整備事業（雨水汚水整備）	119,971	補助金	53,400	企業債	60,567
	処理場整備事業（老朽化対策、耐震化）	52,000	補助金	25,350	企業債	24,048

3 令和3年度下水道事業決算状況（決算の姿）

参照：25～26ページ

■収益的収支（3条）消費税抜き

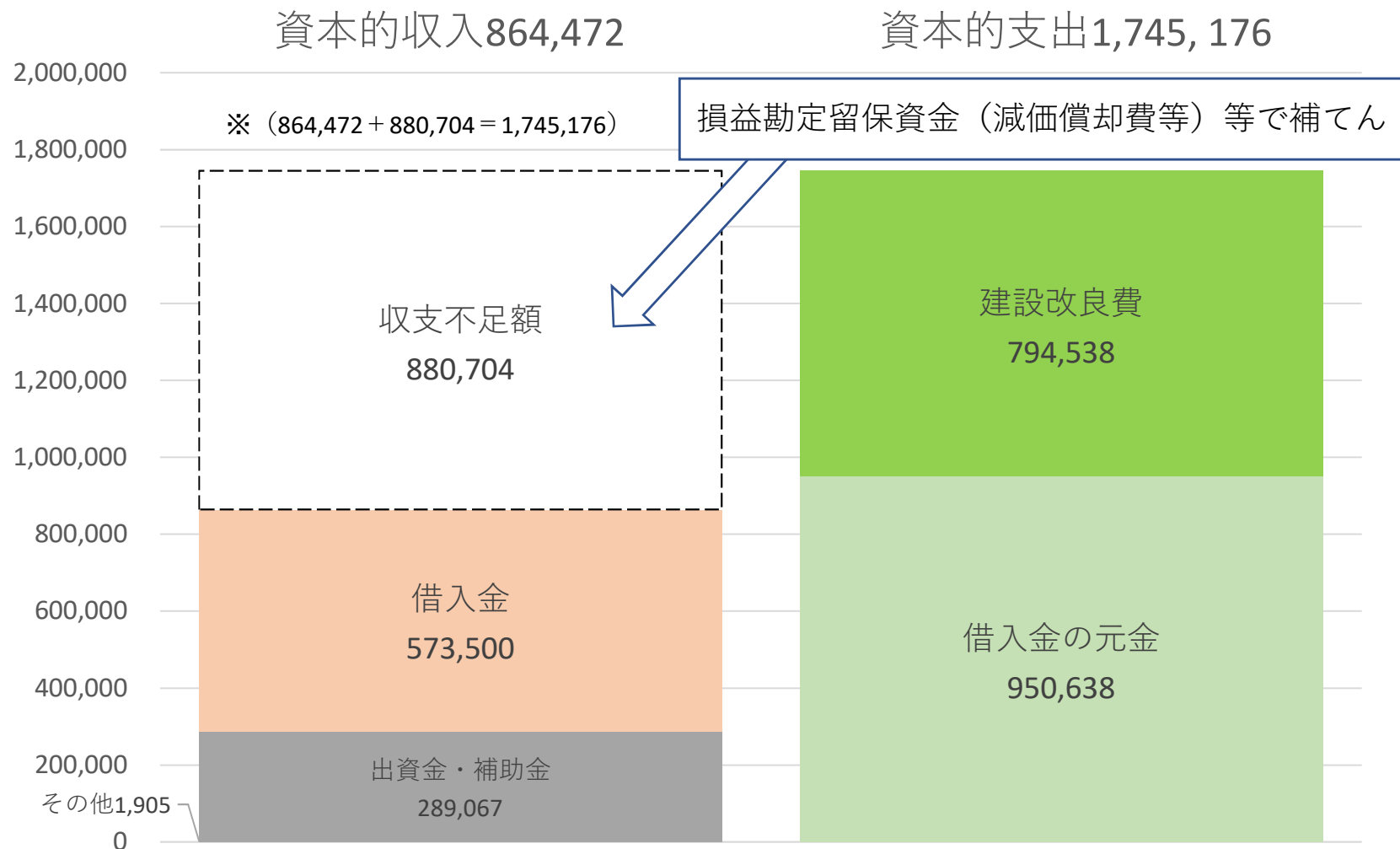


- ※1 支払利息：借入金（企業債）に対する利息
- ※2 営業外費用：下水道事業の主たる営業活動以外のから生じる費用
- ※3 特別損失：当期の費用に計上することが不適当な費用（臨時的な費用や過年度分の下水道使用料還付金など）

3 令和3年度下水道事業決算状況（決算の姿）

参照：24ページ

■資本的収支（4条）消費税込み



※出資金：一般会計又は他会計から特別に出資されたもの

① 予算決算比較表（消費税込み）

1 収益的収支

一般会計繰入金

(収益的収入)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和3年度				令和2年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業収益	1,728,837,000	1,711,592,461	99	△ 17,244,539	1,731,499,759	△ 19,907,298
(1) 下水道使用料	1,066,287,000	1,088,330,062	102.1	22,043,062	1,075,016,443	13,313,619
(2) 雨水処理負担金	537,671,000	514,582,215	95.7	△ 23,088,785	549,907,311	△ 35,325,096
(3) 受託事業収益	72,799,000	70,832,300	97.3	△ 1,966,700	64,247,700	6,584,600
(4) その他営業収益	52,080,000	37,847,884	72.7	△ 14,232,116	42,328,305	△ 4,480,421
2. 営業外収益	1,043,527,000	1,045,706,473	100.2	2,179,473	1,022,829,961	22,876,512
(1) 受取利息及び配当金	15,000	284,381	1895.9	269,381	195,169	89,212
(2) 補助金	18,800,000	10,107,000	53.8	△ 8,693,000	14,000,000	△ 3,893,000
(3) 他会計補助金	35,011,000	66,303,934	189.4	31,292,934	75,288,567	△ 8,984,633
(4) 他会計負担金	91,903,000	55,155,182	60	△ 36,747,818	42,245,559	12,909,623
(5) 消費税及び地方消費税還付金	0	0	0	0	5,969,277	△ 5,969,277
(6) 長期前受金戻入	817,010,000	831,597,892	101.8	14,587,892	796,910,037	34,687,855
(7) 雑収益	80,788,000	82,258,084	101.8	1,470,084	88,221,352	△ 5,963,268
3. 特別利益	1,000	43,027,162	4302716.2	43,026,162	557,536	42,469,626
(1) 固定資産売却益	1,000	0	0.0	△ 1,000	0	0
(2) 過年度損益修正益	0	43,027,162	—	43,027,162	557,536	42,469,626
合計	2,772,365,000	2,800,326,096	101	27,961,096	2,754,887,256	45,438,840

(消費税込み)

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
1. 営業収益	(予算比 △17,245千円)
(1) 下水道使用料	下水道使用料の増 22,043千円 (家事用外 21,808千円)
(2) 雨水処理負担金	一般会計繰入金(維持管理費・人件費及び物件費の減) (△18,408千円)
(3) 受託事業収益	受託事業に係る委託料の減 (△1,967千円)
(4) その他営業収益	基線跨線橋工事に伴う移転補償費の減 (△14,215千円)
2. 営業外収益	(予算比 2,179千円)
(1) 受取利息及び配当金	預金利息率の上昇による増 (269千円)
(2) 補助金	補助対象事業費の減 (△8,693千円)
(3) 他会計補助金	資本費交付税措置相当分の増(分流式下水道等に要する経費の減に伴う“負の相関”による増 31,293千円)
(4) 他会計負担金	分流式下水道等に要する経費の減による (△27,192千円) 水質規制費の減 (△2,068千円) 経営戦略策定等に要する経費の減 (△2,992千円) 高度処理費の減 (△2,989千円)
(6) 長期前受金戻入	R2年度登録の固定資産の増による (14,588千円)
(7) 雑収益	バイオガス売却収益の増 (1,296千円)
3. 特別利益	(予算比 43,026千円)
(2) 過年度損益修正益	過年度損益修正益の増 (43,027千円)

(収益的支出)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和3年度				令和2年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 営業費用	2,346,018,623	2,315,496,738	98.7	△ 30,521,885	2,296,726,896	18,769,842
(1) 管渠費	99,346,027	77,397,061	77.9	△ 21,948,966	95,895,158	△ 18,498,097
(2) 処理場費	471,486,623	448,980,371	95.2	△ 22,506,252	476,721,074	△ 27,740,703
(3) 個別排水処理費	31,875,000	26,112,766	81.9	△ 5,762,234	28,184,249	△ 2,071,483
(4) 水質規制費	5,027,000	2,959,000	58.9	△ 2,068,000	3,061,377	△ 102,377
(5) 水洗化促進費	5,080,408	5,157,839	101.5	77,431	4,622,665	535,174
(6) 生ごみ・し尿処 理場維持管理受託費	69,338,000	67,459,828	97.3	△ 1,878,172	61,189,125	6,270,703
(7) 業務費	59,342,406	59,338,042	100.0	△ 4,364	59,136,924	201,118
(8) 総係費	71,732,159	69,633,491	97.1	△ 2,098,668	78,831,126	△ 9,197,635
(9) 減価償却費	1,525,237,000	1,550,488,117	101.7	25,251,117	1,471,704,622	78,783,495
(10) 資産減耗費	7,554,000	7,970,223	105.5	416,223	17,380,576	△ 9,410,353
2. 営業外費用	213,488,377	213,350,045	99.9	△ 138,332	203,328,000	10,022,045
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	146,413,730	146,291,325	99.9	△ 122,405	157,998,204	△ 11,706,879
(2) 消費税	20,009,600	20,009,600	100.0	0	0	20,009,600
(3) 長期前払消費 税等償却	9,870,000	9,854,073	99.8	△ 15,927	7,686,872	2,167,201
(4) 雑支出	37,195,047	37,195,047	100.0	0	37,642,924	△ 447,877
3. 特別損失	1,010,000	573,747	56.8	△ 436,253	298,050	275,697
(1) 固定資産売却損	10,000	0	0.0	△ 10,000	0	0
(2) 過年度損益 修正損	1,000,000	573,747	57.4	△ 426,253	298,050	275,697
4. 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
合 計	2,562,517,000	2,529,420,530	98.7	△ 33,096,470	2,500,352,946	29,067,584

■ 主な増減の要因 (予算対比)	
1. 営業費用	(予算比 △30,522千円)
(1) 管渠費	人件費の減 (△9,297千円) 委託料の減 (管渠調査委託料の減 △7,190千円) 修繕費の減 (△4,668千円)
(2) 処理場費	修繕費の減 (△4,088千円)・動力費の減 (△7,925千円) 委託料の減 (処理場運転管理委託料の減 △7,942千円)
(3) 個別排水処理費	修繕費の減 (修繕件数の減 △1,634千円) 委託料の減 (保守点検単価の減 △3,656千円)
(4) 水質規制費	委託料の減 (保守実施個所の減 △2,068千円)
(6) 生ごみ・し尿処 理場維持管理受託費	・委託料の減 (処理場運転管理委託料の減 △1,570千円)
(8) 総係費	委託料の減 (△501千円) 旅費の減 (△249千円) 研修費の減 (△257千円) 貸倒引当金繰入額の減 (△302千円)

2 資本的収支

(資本的収入)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和3年度				令和2年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 企業債	748,100,000	573,500,000	76.7	△ 174,600,000	878,600,000	△ 305,100,000
2. 補助金	319,400,000	176,850,000	55.4	△ 142,550,000	547,193,000	△ 370,343,000
3. 他会計出資金	112,363,000	112,216,491	99.9	△ 146,509	109,534,382	2,682,109
4. 負担金	964,000	606,460	62.9	△ 357,540	0	606,460
5. 分担金	2,385,000	1,298,740	54.5	△ 1,086,260	635,050	663,690
6. 水洗化貸付事業収入	260,000	0	0.0	△ 260,000	22,000	△ 22,000
合計	1,183,472,000	864,471,691	73.0	△ 319,000,309	1,535,984,432	△ 671,512,741

■主な増減の要因 (予算対比)	
1. 資本的収入	(予算比 △319,000千円)
(1) 企業債	公共下水道事業等の執行減による借入減 (△174,600千円)
(2) 補助金	補助対象事業費の減による減 (△142,550千円)

■繰越予算 (R2→R3)

22,000千円	補助金
----------	-----

(資本的支出)

(単位：円・%) (消費税込み)

科目	令和3年度				令和2年度	比較増減 (B-C)
	予算現額(A)	決算額(B)	執行率	比較増減 (B-A)	決算額(C)	
1. 建設改良費	1,141,050,000	794,538,141	69.6	△ 346,511,859	1,492,926,290	△ 698,388,149
(1) 公共下水道整備費	1,105,108,000	772,420,441	69.9	△ 332,687,559	1,482,624,658	△ 710,204,217
(2) 個別排水処理施設整備費	23,859,000	12,987,700	54.4	△ 10,871,300	6,392,238	6,595,462
(3) 固定資産購入費	12,083,000	9,130,000	75.6	△ 2,953,000	3,909,394	5,220,606
2. 企業債償還金	950,640,000	950,637,650	100.0	△ 2,350	968,926,303	△ 18,288,653
3. 水洗化貸付事業費	260,000	0	0.0	△ 260,000	22,000	△ 22,000
4. 返還金	273,000	0	0.0	△ 273,000	0	0
5. 予備費	2,000,000	0	0.0	△ 2,000,000	0	0
合計	2,094,223,000	1,745,175,791	83.3	△ 349,047,209	2,461,874,593	△ 716,698,802

■主な増減の要因 (予算対比)	
1. 資本的支出	(予算比 349,047千円)
(1) 公共下水道整備費	委託料・工事請負費の減 (補助金当初配分に伴う事業の先送り、補助事業の追加採択等による繰越入札差金などによる減 △332,688千円)
(2) 個排事業費	個別排水処理施設設置件数の減 (△10,871千円)

■繰越予算 (R3→R4) 工事請負費

81,000千円	福住管渠布設第2工区 (分流化)
27,000千円	末広地区管渠布設工事
6,000千円	西島松6号線管渠布設工事 (雨水汚水整備)
113,971千円	西島松地区管渠布設工事 (雨水整備)

■繰越予算 (R3→R4) 委託料

38,000千円	恵庭下水終末処理場耐震補強工事委託 (耐震化)
14,000千円	恵庭市下水終末処理場乾改築工事委託 (ストックリメント)

② 損益計算書前年度比較表（消費税抜き）

（収 入）

（単位：円）

収益の部				
科 目	令和3年度	令和2年度	前年比較増減	要 因
総収益（A）	2,685,717,054	2,638,699,088	47,017,966	
1. 営業収益	1,606,268,518	1,627,986,485	△ 21,717,967	
（1）下水道使用料	989,445,419	977,343,869	12,101,550	家事用外使用料の増
（2）雨水処理負担金	514,582,215	549,907,311	△ 35,325,096	一般会計繰入金の減
（3）受託事業収益	64,393,000	58,407,000	5,986,000	生ごみし尿処理場受託費の増
（4）その他営業収益	37,847,884	42,328,305	△ 4,480,421	基線跨線橋架替工事補償費の減
2. 営業外収益	1,039,793,612	1,010,198,762	29,594,850	
（1）受取利息及び配当金	284,381	195,169	89,212	
（2）補助金	10,107,000	14,000,000	△ 3,893,000	補助対象事業費の減
（3）他会計補助金	66,303,934	75,288,567	△ 8,984,633	資本費交付税措置相当分補助の減（分流式下水道等に要する経費の増に伴う“負の相関”による減）
（4）他会計負担金	55,155,182	42,245,559	12,909,623	汚水分資本費の増による分流式下水道等に要する経費の増
（5）長期前受金戻入	831,597,892	796,910,037	34,687,855	国庫補助金戻入の増
（6）雑収益	76,345,223	81,559,430	△ 5,214,207	バイオガス売却収益の減
3. 特別利益	39,654,924	513,841	39,141,083	
（1）過年度損益修正益	39,654,924	513,841	39,141,083	

(支 出)

(単位:円)

費用の部				
科 目	令和3年度	令和2年度	前年比較増減	要 因
総費用 (B)	2,467,801,933	2,460,447,967	7,353,966	
1. 営業費用	2,255,488,393	2,231,312,926	24,175,467	
(1) 管渠費	70,645,530	88,278,489	△ 17,632,959	人件費、修繕費、材料費、委託料、工事請負費の減
(2) 処理場費	409,335,278	434,563,586	△ 25,228,308	委託料の減
(3) 個別排水処理費	23,962,428	25,844,238	△ 1,881,810	修繕費の減
(4) 水質規制費	2,690,000	2,783,070	△ 93,070	
(5) 水洗化促進費	5,157,839	4,622,417	535,422	
(6) 生ごみし尿処理場維持管理受託費	61,327,135	55,626,494	5,700,641	委託料、材料費の増
(7) 業務費	55,399,626	55,142,952	256,674	他会計負担金の増
(8) 総係費	68,539,217	75,377,369	△ 6,838,152	委託料の減
(9) 減価償却費	1,550,488,117	1,471,704,622	78,783,495	償却資産の増
(10) 資産減耗費	7,943,223	17,369,689	△ 9,426,466	除却資産の減
2. 営業外費用	211,739,793	228,836,991	△ 17,097,198	
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	146,291,325	157,998,204	△ 11,706,879	企業債利息の減(企業債現在高の減)
(2) 長期前払消費税等償却	9,854,073	7,686,872	2,167,201	
(3) 雑支出	55,594,395	63,151,915	△ 7,557,520	消費税調整額の減による
3. 特別損失	573,747	298,050	275,697	
(1) 過年度損益修正損	573,747	298,050	275,697	
当年度純利益 (A) - (B)	217,915,121	178,251,121	39,664,000	
その他未処分利益剰余金変動額	178,251,121	100,001,052	78,250,069	
当年度未処分利益剰余金	396,166,242	278,252,173	117,914,069	

(消費税抜き)